



令和8年3月15日 第903号

一般財団法人日本遺族会 東京都千代田区九段南一丁目六番五号 九段会館テラス四階 電話 03-3261-5521 電振替 00160-6-25389 編集発行人 盛川英治 毎月1回15日発行 定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

# 第35回理事会 昭和100年企画を了承 真価問われる1年各部一丸で

2月25日、第35回理事会において令和8年度活動方針・事業計画が了承された。昭和100年施策に沿った各種企画を展開し「戦争の記憶の伝承」を普遍的課題と提起し、心えうる団体として社会に奉仕する姿勢を前面に打ち出す。遺族会だから出来る語り部を意識し学校講話に加え、各種企画を通して広報する。真価が問われる一年となる。

冒頭、挨拶に立った水落敏栄本会長は予算の獲得につながった各支部の取組に敬意を表した。続けて増額に見合う事業展開を実施するため一丸となった活動を依頼。その上で、節目の年を越えて記憶の継承が普遍的課題として認知され、永続的な事業となりうるかは、我々にかかっているとして、遺族会の底力を

見せようと奮起を促した。昭和100年企画の概要は左記の通り。昭和100年の間にあつた戦争の記憶の継承を普遍的課題と提起し、そのニーズにこたえられる団体と示す広報企画の実施。評価される点を踏まえ、「体験者と次世代が共に、児童・生徒と体験し考える」を意識した内容、形態(動画制作)の



遺族会の底力を見せようと奮起を促す水落敏栄本会長 = 2月25日、九段会館テラスで

## 第51回衆院選挙 316議席獲得

高市早苗内閣総理大臣は、自民党と日本維新の会による新たな連立政権の枠組みや、重要政策の転換に対する国民の信を問うとして1月23日、衆議院を解散した。衆議院解散から投票日まで16日間という、戦

## 理事会を開催 政治連盟

日本遺族政治連盟は2月25日、理事会を九段会館テラスにおいて開催した。

検討、新規育成を図る各種企画を連年で開催する。1. 本部全国共通企画 定期講話会

同会議では、はじめに去る2月8日投票の第51回衆議院議員総選挙における、本連盟推薦候補者120人の全員立選が報告された。

## 洗心懇談会 本会主催で定例会

靖国神社等、13団体で構成する洗心懇談会の令和8年の定例会が2月18日、日本遺族会主催で九段会館テラスにて開催され、本会からは盛川英治

後、令和8年自民党員獲得目標について審議し、戦没者遺族の声を国政に反映させるため重要となる新規党員の掘り起こしや、家族党員の獲得に全力を傾注し、党員獲得目標に引き続き努力することが確認された。

## 女性部研修会

学校での講話に活用する児童・学生の理解を促す動画、次世代への記憶の伝承に活用する動画の制作を話し合う。(全国でも同様に) 6. 本部全国共通企画 ブロック語り部大会

7. 本部企画 国際親善交流(本会戦跡慰霊巡拝兼) 海外で日本人慰霊に尽力する代表者と意見交換、慰霊施設を訪問し、国際親善を図る。相互交流として8年度は日本より語り部の核となる代表者を派遣。(本部選考) 別途自費参加者を募り、本会戦跡慰霊巡拝兼

## 平和の語り部全国大会

与党は、参院で過半数を割れているが、参院で法案を拒否されても衆院で3分の2以上の賛成により再可決することが可能となった。巨大与党となった自民党・高市総理の強いリーダーシップと丁寧な説明を期待したい。遺族会に関係する当選議員は次の通り。 遺家族議員協議会会長・逢沢一郎氏(岡山1

8. 本部企画 青年部研修会(遺構視察講話聴講) 地域の戦争の記憶を伝える遺構を視察し、講話を研修する。 時期 10月末~11月上旬 メド 場所 静岡県内で調整中

## 声きき声

アメリカ・トランプ大統領は1月3日の南米ベネズエラへの軍事作戦に続き2月28日、イスラエルと共

初当選した西山尚利(日本遺族会青年部副部長)が、見事初当選を果たした。他遺家族議員協議会役員、拡大一心会員ら多くの仲間が当選した。

桜咲く靖国神社へ 夜桜詣 3月26日(木)~31日(火) 各日午後6時~8時

靖国神社 遊就館 令和八年 特別展 いななき 「軍馬」にみる英霊のご事績 令和8年 3月1日(日)~11月30日(月) 会場 靖国神社遊就館 特別展:企画展示室 / 関係展示:本館ギャラリー

終戦80周年  
本会戦跡巡拝

# 遺構視察と語り部研修

## 体験者と次世代が共に

遺族会の語り部は体験者の記憶と地域の歴史を次世代と共に伝え、児童・生徒と共に考える点が評価され、学校等での講話は昨年度比約3・5倍となっている(令和8年1月末時点)。依頼の多い修学旅行の事前学習、地域の歴史を伝える講話、遺構の視察を研修。終戦80周年記念事業の集大成となった体験者と次世代による研修会を紹介する。

2月14・15日終戦80周年本会戦跡巡拝平和の語り部研修会を開催した。

今年度急増した学校等(学童クラブ、コミセン)等の児童・生徒向け講話等を含む)での語り部は、次年度も確実に対応しなければならぬ。

そこで語り部の育成、実践を学ぶため、先進県である兵庫県姫路市、加西市で研修会を開催。

一日目は、学校からの要望の多い「地域の歴史」。「修学旅行の事前学習」の講話を兵庫県より共に次世代(戦没者の孫)である北浦基広会長、荒堀修一青年部長(日本遺族会語り部事業化推進委員)が披露。



対馬丸事件の講話を披露する北浦会長=2月14日

北浦会長は児童・生徒の目線で沖繩戦を伝えるため「対馬丸」事件を題材とし、県とのかかわりを伝え、対馬丸が魚雷攻撃を受け、沈没するまでの12分間のアニメーション動画を挿入。講話から動画と効果的に視覚を転換させることが興味を繋ぐと説明。

荒堀部長は加西市の許可を得て同市作成の戦中の子どもたちを伝えるアニメとつなげて海軍のパイロット養成所であった野飛行場から特攻作戦に飛び立った青年たちを伝える。両氏とも次世代として試行錯誤を重ね、現在体験者と共に学校に赴いている。

### 平和の語り部 学校講話 宮城県の取組み

学校講話が昨年比3・5倍の約670回を数え、8年度の依頼は47校、約5000人の聴講予定となっている。経験者がほぼ不在の中、一丸となつて実施した宮城県の取組みを紹介したい。

12月22日高橋義雄会長は緊急役員会を招集。本部安齋副会長より語り部事業の重要性が伝えられた。担当者からは実践方法が説明され、岩沼市、大崎市の学校講話への協力を要請。両市長から

「地域の学校からの依頼なら初披露でも実施しよう」と快諾された。○1月26日 岩沼市立岩沼南小学校 6年生全クラスに語り部講話を実施。冒頭長田博司会長より地域の遺構として慰霊塔が紹介された。講話者の阿部俊雄氏(遺児)は地元ラジオ局で郷土史のパーソナリティーを務める。本部提供の「みんなで学ぶ戦後の暮らし」をベースに当時の消火訓

その後、全国から参加した39人の意見交換。徳島県、千葉県からは飽きさせない工夫として、紙芝居、対馬丸記念館の詩の朗読などが示された。動画の使い方が効果的と声が高まる一方、祖母から聞いた「空襲警報発令」は今も刻まれているとして、生で伝えることの意味を語る青年部も。この他、興味を引く内容についての問いに、熟練者が

決意表明し、参加者を鼓舞した。翌日は、加西市野飛行場跡の視察。視察を前に移動中の車中で本部より学校講話を拡充するための実践として、自分史を話し合う地区別研修会の実施、学校との打合せの進め方を説明。事務局の負担を分散し、親会、女性部、青年部、事務局が一丸となつて取組んでほしいと依頼した。



野飛行場跡、防空壕シアターを体験=2月15日

野飛行場跡では、防空壕跡のシアター、紫電改等の展示等を視察し終了した。

参加者からの報告書には、地域の遺構の伝え方に感銘。効果的な手法が学べた。体験者と次世代双方の意見が参考に。地域で語り部を育成したいなど前向きなものに。

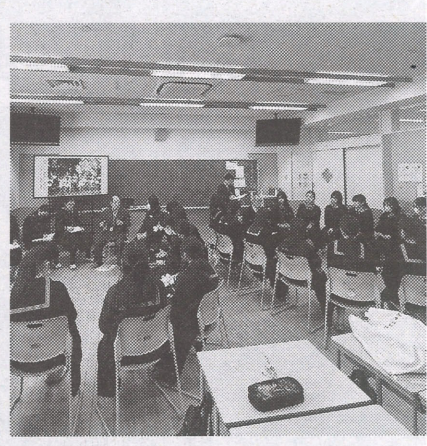
本部は令和8年度も同様の研修会を実施し講話者の育成を加速化する。

### 語り部新たな形態 学習院女子中等科で

2月12日、学習院女子中等科2年生で語り部を実施した。

令和7年10月の申込当初より修学旅行の事前学習として講話型+対話型、複数名の派遣の希望があった。依頼を受けた本部は東京都遺族連合会久保局長に相談。多数の講話者派遣であり、講話後、座談会を加える先進事例として本部が調整し東京に加え、埼玉、千葉、神奈川各県遺族会へ協力を求めた。

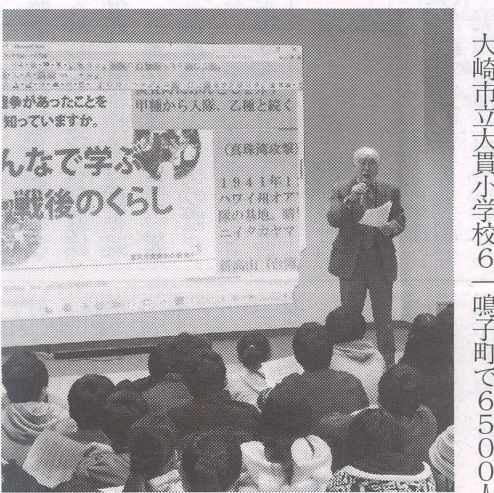
学校では平和学習の取組みを総合的に進めており、修学旅行先となる広島、本事業の利用、その後、卒業生、父母による



講話後、座談会を実施=2月12日、学習院女子中等科で

練の写真など地域の様子を加えた。最後に記念誌に寄せた小学生時代の苦悩を披露し、児童からは体験談への質問が多数挙がった。

年生1クラスで実施。講話者は晴山宗規会長(戦没者の甥)。本部提供の資料に加え、地域の話を紹介。かつて小学校内に建立されていたこと、東日本大震災の影響も受け倒壊している様子を伝えるとともに平和について考えるシンボルとして心にとめてほしいと伝えた。



地域の遺構として岩沼市慰霊の塔を伝える長田会長=1月26日、宮城で

岩沼市は健康福祉部社会福祉課長、職員も同席。大崎市では参加遺族一人、一人が児童に話しかけた。

講話の実践に向けて、本部ではPP資料と共に依頼に対応できるように、実施の要となる学校等との打合せシートを提供している。今後も確実に依頼に対応できるように協力願いたい。

その後、講話者、同行事務局との打合せを実施。都遺族会の実施に伴い都庁護衛担当も同席。概要

を聞き取り、クラス配置を改めて伝えた。育成のため初挑戦となる遺族もメンバーに加え、熟練者とペアとし、講話時間も考慮。また短時間で生徒に内容を伝えるため、PP資料、講話者の歩み、講話概要を伝える講話者紹介シートを併せて制作。学校に事前送付し、紹介シートは生徒に周知した。

語り部10人は戦中戦後の暮らし、東京大空襲、遺骨収集、慰霊巡拝、家族の話などを伝えた。遺児と

- 真剣な眼差しでメモを取る生徒の姿に講話者、事務局とも感激した。次年度も同様の相談が本部に複数寄せられており、講話者の育成が急務となる。
- 講話者
- 東クラス 武藤孝行氏(東京都)、相田洋子氏(神奈川県)
  - 西クラス 岡野利幸氏、木村百合子氏(東京都)
  - 中クラス 中村正弘氏、浅水久子氏(東京都)
  - 南クラス 福居一夫氏、岡部博明氏(埼玉県)
  - 北クラス 宋倉操氏、横田智江氏(千葉県)

# 戦没者遺骨 19柱を送還 遺骨引渡式挙行

## インド・東部ニューギニアから

日本戦没者遺骨収集推進協会は、インド及び東部ニューギニアに戦没者遺骨収集派遣団を派遣し、インドで2柱、東部ニューギニアで17柱を送還した。千鳥ヶ淵戦没者墓苑で合同の遺骨引渡式が挙行され、長坂康正厚生労働副大臣をはじめ遺族代表、国会議員、関係団体代表等が見守る中、派遣団員から厚生労働省職員へ遺骨が引き渡された。

インド  
インド現地調査(第3次)・遺骨収集(第1次)派遣は、本会から2人が参加協力し、2月8日から2月25日の期間で実施された。



東部ニューギニアの戦没者遺骨を焼骨する団員  
= 2月18日、パプアニューギニア国立博物館敷地内

ナガランド州コヒマエコパーク(コヒマ三叉路の一角ウマ高地)で収容した遺骨で、DNA鑑定で日本人であると判定された遺骨2柱を現地のコヒマ科学大学で焼骨し、翌日、エコパークで追悼式を行った。

東部ニューギニア戦没者遺骨収集派遣は、2月13日から2月25日までの期間で実施され、本会から関係遺族5人(班長森本浩吉本会理事・神奈川県遺族会会長)が参加協

力は、平成29年以来、9年ぶりに遺族の手によって遺骨が送還された。

東部ニューギニア地域では、平成30年以来、8年ぶりに遺族の手によって遺骨が送還された。

新新型コロナウイルス感染症の影響等で令和2年度から約2年間、遺骨収集事業が中断した期間もあったが、ロシア等の一部地域を除いて、現在は順調に進められている。

今後、一日でも早くこれらの遺骨が日本へ送還されるようDNA鑑定の迅速化が求められる。

部地域を除いて、現在は順調に進められている。しかしながら、現地大使館等には検体のみを採取した多数の遺骨が一時保管されたままとなっている。



インド及び東部ニューギニアの戦没者遺骨引渡式  
= 2月25日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せていただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。

賛助者名(敬称略) カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等  
舞木善郎、大滝善久、石附雅美、後藤寛、大東市遺族会、中村正弘、吉川良弘、ホンダフサノリ、ハラダアキラ、コガトシロウ(以上、2月1日から2月末日まで)

遺児慰霊 友好親善事業 報道続々と  
戦没者遺児による慰霊友好親善事業は令和7年度で終了となる。昨年6

## 戦没者遺骨収集事業

### 令和8年度参加登録始まる

日本遺族会では、令和8年度戦没者遺骨収集事業への参加希望者の事前登録を行っている。

次世代となる戦没者の孫、ひ孫、甥、姪等の青年部も広く登録願いたい。申込の登録要項は次の通り。

#### 実施予定地域

- ①フィリピン ②東部ニューギニア ③ビスマーク・ソロモン諸島 ④インドネシア ⑤パラオ諸島 ⑥マリアナ諸島 ⑦トラック諸島 ⑧マーシャル諸島 ⑨ギルバート諸島 ⑩ミャンマー

【南方及び北方地域等の遺骨収集】  
①フィリピン ②東部ニューギニア ③ビスマーク・ソロモン諸島 ④インドネシア ⑤パラオ諸島 ⑥マリアナ諸島 ⑦トラック諸島 ⑧マーシャル諸島 ⑨ギルバート諸島 ⑩ミャンマー

【硫黄島の遺骨収集】  
年度内4回の派遣を予定している。

※海外国内派遣対象地域は、情勢等により派遣が中止となる場合がある。

参加資格  
①原則年齢制限はなく、身体健康な者で、現地の収容作業等に従事できる者  
②各都道府県遺族会の会員である戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪等  
③本会事業の推進に賛同いただける者  
※派遣者は、健康診断書並びに宣誓書等の提出が

参加登録方法  
参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入した上で、在住する各都道府県遺族会事務所に提出願いたい。

なお、参加希望者が指定された定員を上回る場合は選考となる。

## フィリピンで慰霊碑埋設

### 海外民間建立慰霊碑移設等事業

日本遺族会が厚生労働省から委託を受け実施している海外民間建立慰霊碑移設等事業で、1月30日から2月3日の期間、本会事務局職員1人をフィリピンへ派遣し、ルソン島バグサンハンの旧比島寺内に設置されていた慰霊碑群の埋設作業を行った。

今年から49年前の昭和52

年、フィリピンを専門とする民間情報提供会社「PIC」＝フィリピンインフォメーションセンターが、先の大戦でフィリピンにおいて戦没した52万余柱の御霊を慰める目的で、ルソン島ラグナ州バグサンハンに慈眼山比島寺を開設した。

その後、敷地内には戦友団体が建立した慰霊碑

や、フィリピンで肉親を亡くした遺族から永代供養として墓石に代わる石の表札(縦30センチ、横10センチ)約1150余りが奉納されるなどして、37基の慰霊碑群として管理していたが、寺を建てた会社の経営者が平成年代初期に亡くなった。寺としての存続が困難となり、荒れ果てた状況が長く続いていた。

本会は、令和6年8月から旧比島寺の土地所有者と協議を続け、放置状態にある慰霊碑群を整理することで双方が合意したうえで、埋設に関する事業計画書を策定して今回の埋設にいたった。

埋設作業は重機を使わず人の手により、一基一基の慰霊碑を丁寧に埋設



撤去した慰霊碑を運び埋設する作業員ら  
= 1月31日、旧比島寺で

ミャンマー(旧ビルマ)小学校修繕募金のお願い  
日本遺族会ではミャンマー(旧ビルマ)に建設贈呈した小学校の修繕費用の寄付を募っています。本会は平成11年度から3年計画で、北オカラッパ第14小学校(ヤンゴン郊外)、カドウィンチャン小学校(ベグー)、バンドウータズー小学校(アキャブ)の3校を竣工、贈呈しましたが、建設から20数年が経過し、校舎等の老朽化が進んでいます。2021年の軍事クーデター以降、ミャンマー国内の政情が不安定なため渡航が困難とされているなか、外務省大洋州局、在ミャンマー日本国大使館とも協議を重ねた結果、本年3月に「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」でミャンマー地域の実施が決定しました。小学校を訪問した際には、学校側の要望を聞き取り、現状を把握したうえで、壊れた校舎の修復など募った寄付金の使途、今後の支援について慎重に検討します。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

銀行名:三井住友銀行 神田支店 口座番号:当座預金 1015126  
口座名:一般財団法人 日本遺族会=ザイ) ニホンゾクカイ

参加者募集

# 沖縄平和祈願慰霊大行進

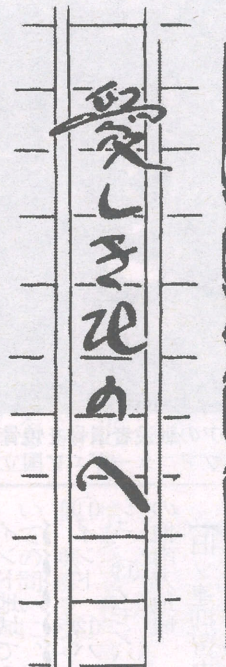
## 平和の語り部研修実施

日本遺族会では、沖縄県遺族連合会と共催で実施する「第65回沖縄平和祈願慰霊大行進」の参加者を募集している。今回は、平和の語り部事業の体験型の大行進に加え、研修会を実施する。組織の後継者である孫、ひ孫等が積極的に参加し、次世代へ戦争の記憶を伝える活動者として意識を高める機会としてほしい。

「第65回沖縄平和祈願慰霊大行進」の参加者を募集している。今回は、平和の語り部事業の体験型の大行進に加え、研修会を実施する。組織の後継者である孫、ひ孫等が積極的に参加し、次世代へ戦争の記憶を伝える活動者として意識を高める機会としてほしい。

戦争の記憶を次世代へ伝えるために、先の大戦で多くの尊い命が失われた沖縄戦を振り返り、願望を込めて平和の語り部研修会へは、全戦域の戦没者遺族が参加可能である。

▼期間 6月22日(月)



### 今茲に護国の花と散り行くは

陸軍曹長 二宮 逸雄

昭和十九年七月十八日  
マリアナ諸島サイパン島にて戦死  
岐阜県可児郡春里村出身 二十六歳

今茲に護国の花と散り行くは日本男子の本懐と、今日有る日を心待ち致して居りました。

今茲に散り行くは言迄も無く、大君の為東洋平和の為と引いては我家子孫の為と思へば思ふがま、に翼を広げて君国の為働き盡す事が出来ま

又今櫻花の如く散り行きましたも、小官七度生れ來て必ず君国に報ゆる覚悟に御座居ます。

皆様 左様奈良

二宮逸雄

家内一同様

【令和八年三月靖国神社頭掲示】  
愛しきものへ

②参加人数により費用が異なる。また、自宅から沖縄の往復交通費、那覇空港から集合場所となる那覇市内のホテルまでの往復交通費は個人負担となるので、各自で手配願いたい。

▼申込先 在住する各都道府県遺族会事務局へ。  
▼申込締切 5月8日(金)  
※費用には宿泊代、食事代、バス借上げ代、添乗員費用、懇談会費用等が含まれる。

▼費用 4万円〜5万円程度。

24日(水) 2泊3日。  
平和の語り部事業の一環として捉え、語り部研修会を実施する。詳しくは支部遺族会事務局へ参加者募集要項は以下のとおり。



ひめゆりの塔前から摩文仁までの約4キロを行進

### 日章旗遺族のもとへ

#### 愛知県、福島県で返還

戦没者等の遺留品返還に伴う調査事業で、本会と業務提携している米国のOBONソサエティから本会に調査依頼があった日章旗の持ち主が愛知県と福島県で判明した。今回、同団体の敬子・ジーク代表が来日して、それぞれの遺族へ直接手渡した。

愛知県では日章旗の持ち主が、西加茂郡出身で昭和19年8月5日に鹿児島県で戦死した野々山勝敏さんのものであることが分かり、愛知県遺族連合会が調査し、豊田市に在住している勝敏さんの兄の日出光さんの所在を突きとめた。

日章旗の返還には陣内さゆり県遺族連合会事務局局長が同行し、1月19日、豊田市役所会議室で、勝敏さんの甥にあたる、治さんが遺族を代表して敬



寄せ書きされた日章旗を確認する野々山治さんと敬子・ジーク氏=1月19日、豊田市役所で

で、石川町に在住している長男の和功さんの所在が判明した。

1月21日、石川町役場で、返還式が営まれた。返還式には、高齢の和功さんに代わって佐藤のり子さん、大森豊子さん、矢吹富士子さんの孫娘3人、安齋満福島遺族会会長(本会副会長)、吉田利昭郡連合遺族会会長らが出席し、佐藤のり子さんへ敬子・ジーク氏から日章旗が手渡された。

福島県では、日章旗が昭和19年8月2日にテニアン島で戦死した佐藤正雄さんのものであることが分かり、福島県遺族会、石川郡遺族連合会の調査

対に生きて帰ってくる」ん、帰ってきたよ」と祖母に報告したい」と涙ながらに語った。



返還された日章旗を手にする孫、三姉妹と敬子・ジーク氏=1月21日、石川町役場で

### 九段短歌

選者 村田 信昌

幾十万のみ霊乗するや弘前城のお堀うずむる花の筏は戦死の報胸に引き揚げ船の中我れを背にして母強かつた  
紅顔の美少年とてモノクロに相まみえぬ子は八十路の坂  
子や孫とDVDに見る慰霊祭戦争の悲劇語り合いつつ

千葉県 石橋 嘉子

### 地方だより

各支部遺族会で実施された大会等は次の通り。

- ▼愛媛県 11月7日 令和7年度後継者(青年部等含む)・慰霊巡拝参加者及び女性部と英霊にこたえる会語り部研修会(72人)
- ▼徳島県 11月8日 第102回語り部事業(30人)

### 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただけますようお願い申し上げます。

郵便振替  
00130021694929

みずほ銀行 九段支店  
普通預金 0980930

※口座名は「一般財団法人日本遺族会」です。二ホンバンクイ

▼秋田県 11月11日 終戦80周年記念大会(109人)

▼京都府 11月19日 令和7年度京都府戦没者遺族大会(306人)

▼岡山県 11月24日 令和7年度岡山県戦没者遺族代表者大会(600人)

▼福岡県 11月25日 終戦80周年記念福岡県戦没者遺族大会(600人)

▼新潟県 11月26日 第2回平和の語り部大会(90人)

▼福島県 12月7日 令和7年度福島県遺族会研修会(97人)

▼福井県 12月13日 第2回平和の語り部大会(90人)

▼茨城県 12月2日 終戦80周年記念茨城県戦没者遺族大会(714人)

▼島根県 11月30日 斐川町遺族会「恒久平和を祈念する集い」(72人)

▼第43回理事会(11人)